

愛の宣教者の祈り

愛の宣教者であるよきサマリア人のように

主イエスよ、

あなたは小さな者に目を向け、
傷ついた人にやさしく触れ、
孤独な人のそばを歩まれました。
私たちにも、
義務ではなく、贈り物として、
言葉ではなく、存在として、
愛を生きることをご教授ください。



私たちの手が開かれ、
目が気づき、
心が受け入れることができますように。
静かに仕え、
裁くことなく慰め、
見返りを求めずに愛する恵みを与えてください。

希望を運ぶ愛の宣教者として、
一つの行い、一つのまなざし、
一つのふれあいによって
光をもたらす者となれますように。
やさしさの母、聖母マリアよ、
日々の歩みの中で私たちを導き、
すべての出会いが
いつくしみと光の機会となりますように。
アーメン。

3

「諸民族の中で生きる希望の宣教者」

Step 3: キリスト者、希望を築く者

「真に人間的なことがらで、キリストの弟子たちの心に響かないものは何もない」のです。世界で、とくに「発展した」とされる地域では、人間性の危機が深刻な症状を呈しています。だれもが互いに結びついてはいるのに、かかわりは希薄です。…わたしたちは福音を共同体の中で生きることによって、健全であがなわれた、まったき人間性を取り戻せるのです。神の流儀で、すなわち近しさ、あわれみ、優しさをもって、具体的状況がそれぞれ異なる兄弟姉妹一人ひとりとの関係を大切にしながら実践して行く。

教皇フランシスコ 2025 年「世界宣教の日」メッセージより

世界宣教の日



全世界の福音宣教に思いをはせながら、
祈りの旅を続けましょう。今週は
ヨーロッパ大陸のために祈りましょう。

現在のヨーロッパでは、キリスト教が危機の時代を迎えています。多くのヨーロッパの人々は聖書を読み、それによって養われていますが、それでもなお、キリスト教の土台を見失っている人々も少なくありません。今のヨーロッパにおいて、キリスト者がイエスから受けた賜物を、周囲の人々と分かち合うことができますように。

神の愛を日々の生活で証しする (愛のわざ)

「愛は多くの罪を覆う。」
(ペトロ第一 4:8)



典礼での提案

奉納行列

共同体の愛のわざを象徴する品(食料、衣類、手紙など)を祭壇の前に捧げ、神への感謝と隣人への愛を目に見えるかたちで表します。

終わりの祈り

典礼の最後に、4 ページの祈りを皆で心をあわせて祈りましょう。

日常生活での提案

共同体としての行動

教会内にかごを設置し、週の間に「愛の行い」や「信仰の証し」を書いた紙を入れていただきます。月末には、それらをまとめて紹介し、共同体として祈りと感謝を分かち合います。

個人としての行動

具体的な人や場所を思い浮かべながら、神の愛を伝える行動を一つ選び、実行します。
訪問、贈り物、手紙など、心を込めた小さな行いが、愛のしるしとなります。

主日の福音から黙想のヒント

年間第 29 主日



「…神は、昼も夜も叫び求めている
選ばれた人たちのために裁きを行わずに、
彼らをいつまでもほうっておかれることがあろうか。言っておくが、神は速やかに裁いてくださる。」 (ルカ 18.1-8)

御父はすべての人々の叫びを聞いてくださる。その「速やかな裁き」を行うために同じ耳、同じ心を持つ協力者を選ぶ。

典礼と
祈り

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 力を合わせて行われる教会の慈善事業がいつも主の慈しみの現れとなりますように。
- ☆ 全世界で行われている司祭召命の育成に、キリスト者の物質的および霊的な援助が常に満たされますように。



宣教のロザリオ

ヨーロッパのために
ロザリオの一連を
唱えましょう。

